

周南市上下水道耐震化計画

周南市上下水道局

策定 令和7年1月

1 目標

周南市では、災害に強く持続可能な上下水道システムの構築に向け、対策が必要な急所施設について、今後、概ね30年間で耐震化を完了することを目指し、このうち令和7年度から令和16年度の10年間では、被災すると極めて大きな影響を及ぼす急所施設を最優先に耐震化を実施することを目指す。

また、対策が必要な避難所等の重要施設に接続する上下水道管路等について、今後、概ね20年間で耐震化を完了することを目指し、このうち令和7年度から令和16年度の10年間では、特に規模の大きい病院、避難所や防災拠点等に接続する上下水道管路等の耐震化を実施することを目指す。

2 計画期間

令和7年4月～令和17年3月

3 下水道処理区域内における避難所等の重要施設の設定(上下水道共通)

区分	下水道処理区域内における避難所等の重要施設(上下水共通)		
	施設数		施設名称
対象全施設数	8		周南市役所、徳山中央病院、徳山医師会病院、新南陽市民病院、総合スポーツセンター、徳山小学校、富田中学校、新南陽ふれあいセンター
上下水道管路等の耐震性能確保済みの施設数 (令和5年度末時点)	0		—
	水道	2	周南市役所、富田中学校
	下水道	0	—
上下水道管路等の耐震性能確保の目標施設数 (令和11年度末迄)	1		周南市役所
	水道	3	周南市役所、富田中学校、総合スポーツセンター
	下水道	2	周南市役所、徳山小学校
上下水道管路等の耐震性能確保の目標施設数 (令和16年度末迄)	1		周南市役所
	水道	5	周南市役所、富田中学校、総合スポーツセンター、徳山中央病院、新南陽市民病院
	下水道	2	周南市役所、徳山小学校

◀ 周南市 上下水道耐震化重点計画のうち 水道事業等に関する計画 ▶

4 水道システムの急所施設の耐震化(上水道事業)

(1) 取水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m ³ /日)	耐震化率(%)
対象全取水施設	1	2,178	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	1	2,178	100
耐震化目標(令和11年度末迄)	1	2,178	100
耐震化目標(令和16年度末迄)	1	2,178	100

(2) 導水施設(導水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
対象全導水管(令和5年度末時点)	1,049	1,036	48	2,133	49.2	97.7
耐震化目標(令和11年度末迄)	1,049	1,036	48	2,133	49.2	97.7
耐震化目標(令和16年度末迄)	1,097	1,036	0	2,133	51.4	100.0

(3) 浄水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m ³ /日)	耐震化率(%)
対象全浄水施設	5	82,562	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	3	62,678	75.9
耐震化目標(令和11年度末迄)	3	62,678	75.9
耐震化目標(令和16年度末迄)	4	64,262	77.8

(4) 送水施設(送水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
対象全送水管(令和5年度末時点)	11,932	7,753	1,295	20,980	56.9	93.8
耐震化目標(令和11年度末迄)	11,932	7,753	1,295	20,980	56.9	93.8
耐震化目標(令和16年度末迄)	12,008	7,753	1,219	20,980	57.2	94.2

(5) 配水施設(配水池)

	箇所数(箇所)	有効容量(m ³)	耐震化率(%)
対象全配水池	19	48,798	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	8	25,852	53.0
耐震化目標(令和11年度末迄)	8	25,852	53.0
耐震化目標(令和16年度末迄)	9	32,002	65.6

(6) ポンプ所(送水及び配水ポンプ所)

	箇所数(箇所)	施設能力(m ³ /日)	耐震化率(%)
対象全ポンプ所	6	88,523	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	4	32,363	36.6
耐震化目標(令和11年度末迄)	4	32,363	36.6
耐震化目標(令和16年度末迄)	5	42,443	47.9

5 避難所等の重要施設に接続する水道管路の耐震化(上水道事業)

配水池～避難所等の重要施設までの水道管路(配水本管＋配水支管)

(1) 下水道処理区域内における避難所等の重要施設

	管路延長(km)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
避難所等の重要な施設に接続する配水管(令和5年度末時点)	7.31	5.02	4.86	17.19	42.5	71.7
配水本管	1.17	3.19	0.05	4.41	26.5	98.9
配水支管	6.14	1.83	4.81	12.78	48.0	62.4
耐震化目標(令和11年度末迄)	8.66	5.02	3.51	17.19	50.4	79.6
耐震化目標(令和16年度末迄)	9.88	5.02	2.29	17.19	57.5	86.7

※対象施設の位置は、別紙資料①②③を参照

◀ 周南市 上下水道耐震化重点計画のうち 下水道事業に関する計画 ▶

6 下水道システムの急所施設の耐震化

(1) 下水処理場(揚水、沈殿、消毒機能に係る施設に限る)

	揚水施設		沈殿施設		消毒施設		揚水、沈殿、消毒機能に係る全ての施設	
	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数	5		5		5		5	
耐震性能確保済みの箇所数 (令和5年度末時点)	0	0	0	0	0	0	0	0
耐震性能確保の目標箇所数 (令和11年度末迄)	0	0	1	20	1	20	0	0
耐震性能確保の目標箇所数 (令和16年度末迄)	1	20	1	20	1	20	1	20

(2) 下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路

	管路延長(km)	耐震化率(%)
対象全延長	3.89	
耐震性能確保済みの延長(令和5年度末時点)	0.36	9.3
耐震性能確保の目標延長(令和11年度末迄)	0.36	9.3
耐震性能確保の目標延長(令和16年度末迄)	0.83	21.3

(3) 下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までのポンプ場

	ポンプ場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数	1	
耐震性能確保済みの箇所数(令和5年度末時点)	0	0
耐震性能確保の目標箇所数(令和11年度末迄)	0	0
耐震性能確保の目標箇所数(令和16年度末迄)	0	0

7 避難所等の重要施設に接続する下水道管路等の耐震化

(1) 避難所等の重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路

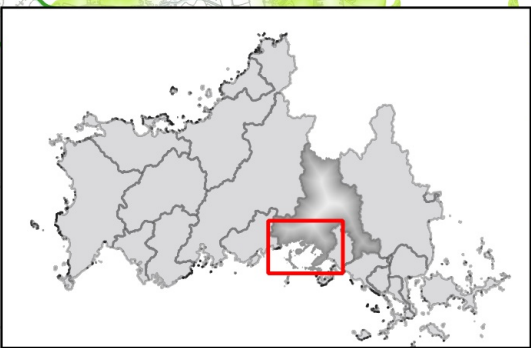
	管路延長(km)	耐震化率(%)
対象全延長	18.29	
耐震性能確保済みの延長(令和5年度末時点)	1.75	9.6
耐震性能確保の目標延長(令和11年度末迄)	4.18	22.9
耐震性能確保の目標延長(令和16年度末迄)	6.97	38.1

(2) 避難所等の重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路の途中にあるポンプ場の箇所数

	ポンプ場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数	1	
耐震性能確保済みの箇所数(令和5年度末時点)	0	0
耐震性能確保の目標箇所数(令和11年度末迄)	0	0
耐震性能確保の目標箇所数(令和16年度末迄)	0	0

※対象施設の位置は、別紙資料①②③を参照

別紙資料 位置図①



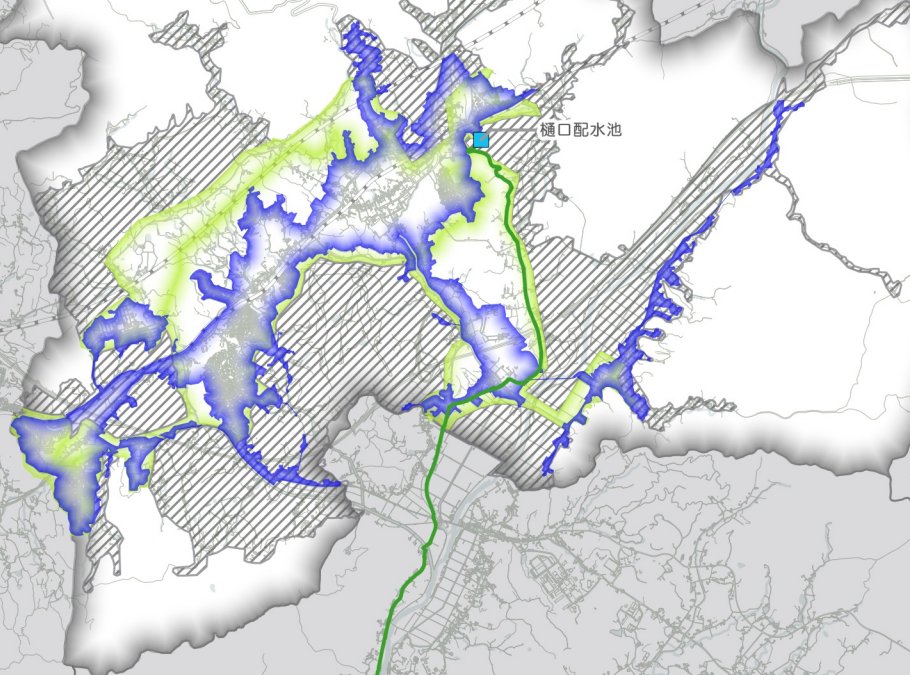
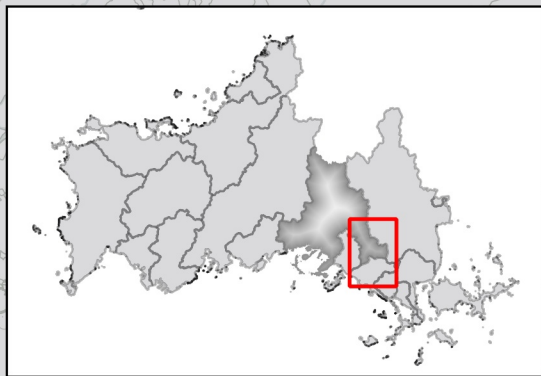
凡例

- ★ 重要施設
- 周南市行政区画
- 【水道事業】
 - 浄水場
 - 配水池
 - ポンプ所
 - 導水管
 - 送水管
 - 配水本管
 - 配水支管
 - 隧道
 - 上水道給水区域
- 【下水道事業】
 - 浄化センター
 - 汚水ポンプ場
 - 重要施設から最終合流地点までの管路
 - 最終合流地点から処理場までの管路
 - 下水道処理区域

0.5 0 0.5 1 1.5 2 km

令和7年1月現在

別紙資料 位置図②



熊毛地区送水ポンプ所
(林浄水場内)

凡例

周南市行政区画

【水道事業】

配水池

ポンプ所

送水管

上水道給水区域

【下水道事業】

下水道処理区域

0.5 0 0.5 1 1.5 2 km

令和7年1月現在

別紙資料 位置図③



中山配水池

柏原浄水場

鹿野浄化センター

渋川配水池

須万市配水池

米光配水池

新南陽北部浄化センター

長穂浄水場

長穂配水池

第1須々万配水池

第2須々万配水池

中山中継ポンプ所

凡例

■ 周南市行政区画

【水道事業】

- 浄水場
- 配水池
- 導水管
- 送水管
- 上水道給水区域

【下水道事業】

- 浄化センター
- 最終合流地点から処理場までの管路
- 下水道処理区域

0.5 0 0.5 1 1.5 2 km

令和7年1月現在